

平成 29 年 10 月 31 日

各 位

会社名：川崎汽船株式会社
代表者名：代表取締役社長執行役員 村上英三
(コード番号 9 1 0 7 東証・名証第一部、福証)
問合せ先：経営企画グループ長 五十嵐 武宣
(TEL 0 3 - 3 5 9 5 - 5 5 9 4)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想との差異
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 7 月 31 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と比較して、本日の決算において差異が生じたのでお知らせするとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 3 月期の通期の連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想との差異

(1) 差異の内容 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	第 2 四半期累計期間				
	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり連結 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年 7 月 31 日公表)	百万円 570,000	百万円 10,000	百万円 10,000	百万円 15,000	円 銭 160.05
実績値(B)	578,928	6,247	11,146	13,175	140.78
増減額(B-A)	8,928	△ 3,753	1,146	△ 1,825	△ 19.27
増減率(%)	1.6%	△ 37.5%	11.5%	△ 12.2%	△ 12.0%
(ご参考) 前期連結実績 (平成 28 年 9 月期)	491,152	△ 26,423	△ 36,125	△ 50,457	△ 538.37

注) 当社は、平成 29 年 10 月 1 日付で普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1 株当たり連結四半期純利益を算定しています。

(2) 差異の理由

コンテナ船事業において、欧米航路を中心に運賃市況の底入れが見られたものの、回復のスピードは予想より遅く、船社間の合併・統合、アライアンスの組換え等や新造大型船の竣工による事業環境の変化もあり、前回発表予想と比べ厳しい市況となりました。当社グループでは、前々期及び前期の 2 期にわたり競争力強化への取組みとして行った構造改革の効果に加えて、コスト削減、配船効率化などの収支改善策に取り組みましたが、第 2 四半期累計期間の業績は前回発表予想に比べ悪化しました。

2. 平成30年3月期通期連結業績予想の修正

(1) 修正の内容 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	通期				
	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり連結 当期純利益
前回発表予想(A) (平成29年7月31日公表)	百万円 1,122,000	百万円 23,000	百万円 21,000	百万円 21,000	円 銭 224.07
今回修正予想(B)	1,140,000	13,000	13,000	8,500	90.96
増減額(B-A)	18,000	△ 10,000	△ 8,000	△ 12,500	△ 133.11
増減率(%)	1.6%	△ 43.5%	△ 38.1%	△ 59.5%	△ 59.4%
(ご参考) 前期連結実績 (平成29年3月期)	1,030,191	△ 46,037	△ 52,388	△ 139,478	△ 1,488.23

注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり連結当期純利益を算定しています。

(2) 修正の理由

第3四半期以降は、全体として緩やかな回復基調を維持すると見られる一方で、更なる地政学的緊張の高まりや各国の金融緩和縮小へ向けた動きが景気減速への引き金になる恐れもあることから、注意が必要な状況が続くものと予想されます。事業環境においては、ドライバルク市況は回復基調を維持するものとみられるものの、コンテナ船事業や油槽船事業において、市況は上値の重い展開が続く見込みであるため、通期業績予想を上記の通り修正いたしました。当社は中期経営計画を推進するとともに、更なる合理化による収支改善に努めてまいります。

以上

川崎汽船ホームページURL <http://www.kline.co.jp>

注) 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後の事業環境等、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。